

第3回穴栗市地域福祉のつどい宣言（案）

合併から6年目を迎え、穴栗市社協では、現在「第2次穴栗市地域福祉推進計画」を策定中です。今回の計画は、「つながり」をキーワードに、平成23年度から27年度までの5年間の地域福祉活動の方針と社協の強化方策をまとめるものです。

本日、「第3回穴栗市地域福祉のつどい」を開催し、穴栗市の地域状況の報告を行いながら、ここから考えられる課題や問題について、関係者で話し合いをしました。

少子高齢化がますます進む穴栗市において、これからは、地域でのつながりをカタチあるものにしていくことが必要で、そのためには、小地域から「ふだんのくらしのしあわせづくり」のための取組を積極的に進めていくことが必要であることが確認されました。

よって、それを「第3回穴栗市地域福祉のつどい宣言」として、次の点にまとめ、それぞれの自治会や地域からこれらの取組を進めていくことを呼びかけます。

1. すべての自治会で小地域福祉活動の母体となる「福祉連絡会」をつくり、その活動を活性化させましょう。
2. 近隣のつながりをカタチあるものにするために、ささえあい、たすけあいの気持ちが生きる「ご近所ボランティア活動」をすすめましょう。
3. 地域福祉を進めるための財源である「善意銀行」「共同募金」「社協賛助会費」に協力し、寄付の文化を広めましょう。

平成23年2月20日

第3回穴栗市地域福祉のつどい